

ロシアによるウクライナ侵略の状況

- 露軍は、「ウ」東部ルハンスク州及びドネツク州全域の掌握を企図し、砲兵主体の大規模な攻勢を継続している模様
- 「ウ」軍発表の露軍損耗は、人員約3万5250人、戦車1567両、装甲戦闘車両3704両、固定翼機217機、ヘリ185機

25日、ザルージュヌイ「ウ」軍総司令官は、米国が供与したHIMARS多連装ロケットシステムが既に「ウ」国内で使用されていると発言

27日、「ウ」空軍は、露軍Tu-22M3爆撃機がKh-22空対艦ミサイルでクレメンチュークの大型商業施設を攻撃したと発表

28日及び29日付「ウ」国営通信記事によれば、同施設には当時1000人以上が滞在。上記の攻撃により少なくとも20人が死亡、59人が負傷

25日、「ウ」空軍は、露軍が「ウ」各地に対し大規模なミサイル攻撃（約50発）を行ったと発表。「ウ」西部に対しては「カリブル」艦対地巡航ミサイルが、「ウ」北部に対してはベラルーシ領内に初めて進出したTu-22M3爆撃機から発射されたKh-22空対艦ミサイルのほか、地対地ミサイル「イスカンデル」及び「トーチカU」が、「ウ」南部に対しては（クリミア半島に配備された）「バスチオン」地対艦ミサイルシステムから発射された「オニクス」地対艦ミサイルがそれぞれ使用された。

25日、「ウ」国家原子力規制検査局は、同日、露軍がハルキウ物理技術研究所を砲撃し、未臨界実験装置が損傷したと発表

25日、露国防省は、「ルハンスク人民共和国人民義勇軍」が「アゾト」化学工場も含めたセヴェロドネツク全域を掌握したと発表

25日、プーチン露大統領とルカシェンコ・ベラルーシ大統領が会談。プーチン大統領は、ベラルーシ軍のSu-25攻撃機を戦術核搭載可能に改修することを提案するとともに、ベラルーシ軍に通常/核弾頭の弾道/巡航ミサイルを発射可能な「イスカンデルM」戦術ミサイルシステムを供与することを確認



- 攻撃を受けたと報じられた地点
- ✈️ 攻撃を受けたと報じられた軍施設
- 💣 特に激しい戦闘が行われている地域
- 露軍が占領した地点
- 🟡 地域

国土地理院標準地図を加工

資料源:ウクライナ政府機関ウェブサイト、TV ZVEZDA、ISW等